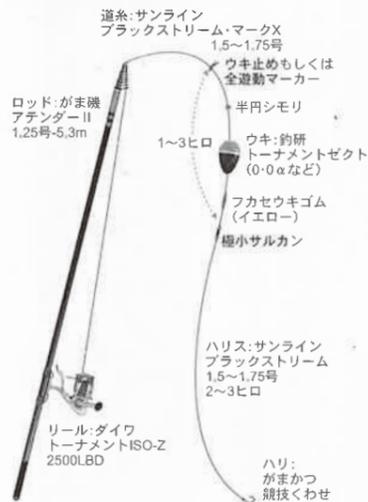


【私の春グロタックル】



合も約一ヶ月ぐらい遅れるのと、やはりクロの数が圧倒的に多いためよく釣れると思います。

《仕掛ハンズン》  
今の時期に一番気を使うのがクロが、どのくらいのタナで喰ってくるかということだ。

《最後に》  
正直言って2月後半から3月は厳しい釣りを強いられると思います。アタリもほとんどないことが

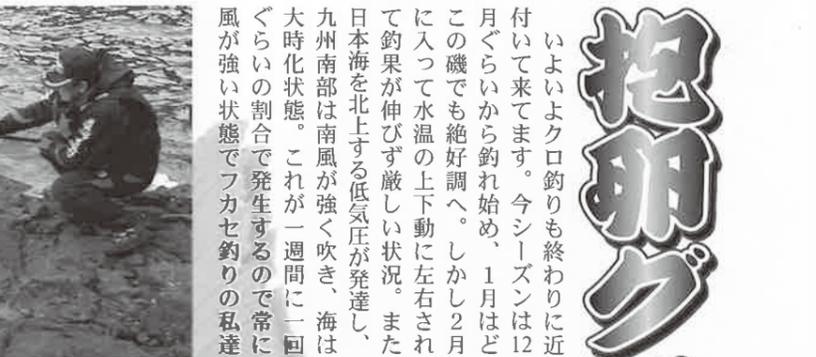
いよいよクロ釣りも終わりに近づいて来ます。今シーズンは12月ぐらいから釣れ始め、1月はこの磯でも絶好調へ。しかし2月に入って水温の上下動に左右されて釣果が伸びず厳しい状況。また日本海を北上する低気圧が発達し、九州南部は南風が強く吹き、海は大時化状態。これが一週間に一回ぐらいの割合で発生するので常に風が強い状態でフカセ釣りの私達

には釣り辛い天候が続いています。それでも風裏の磯を探してでも釣りに行きたくてしょうがない、大きいデカグロを釣りたい、たくさん釣りたいクロ釣り師(私もその一人)のために、今回はデカグロ(抱卵グロ)攻略を考えてみようと思います。

《マキエ・ツケエ》  
2月後半から3月にかけての海水温は16度から14度ぐらいでしようか。クロ釣りには厳しい水温ですが喰わないというほどではないです。確かに1月のような活発な動きは見れませんが、動きが悪いなりにエサは喰って来ます。

《マキエ例》  
配合エサはマルキューのグレパワーV9もしくはV9徳用どちらかどアミパワーグレを準備し半袋ずつ使います。釣る時間が長い時、

《ツケエ例》  
ツケエサのオキアミは、小粒、



出し過ぎないということに気を付けて、きつちりと、狙うポイント、タナを意識して仕掛けを送り込みます。

多いと思われる。そんな中、クロが釣れたら、たとえそれが足の裏サイズでも嬉しくなります。そしてそれをヒントに次の一手を考えるようにします。



野間辰美  
南のつり  
アドバイザー

中粒、大粒が混ざっているものを持って行って、現場で状況に合わせて使います。小粒はオキアミの頭を付けた時、大粒はアピールさせた時やムキ身にしたりと色々使い勝手があります。中粒は頭を取ってハリに刺す時に一番いい大きさです。よく小粒にこだわる人がいますが、色んな大きさを試してみるといいと思います。

《磯場選び》  
正直言ってこれから近場(沿岸部)は厳しい釣りになると思っています。ただ、釣れないという事ではなくて難しくなるのは事実です。抱卵しているため、どうしても神経質になってくる分、素直にエサを喰ってくれなくなります。

この時期、磯際、潮目、沈み瀬周り、そして底根付近のポイントになります。なので、足元からドン深の磯は今の時期は避けた方がいいと思います。竿で約3本分ぐらいの水深の磯を狙いやすいと思います。

甌島里周辺 瀬渡し・船釣り

蝶栄丸 船釣り船 いおしん丸 専門船

本格シーズン到来!

出航地 串木野港

定員40名

串木野 ☎0996(33)1169 船長 石原

ク口絶好釣!! 民宿 石原荘